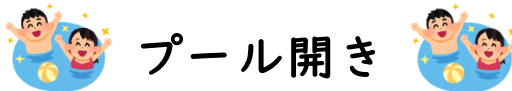




令和 8年 6月 30日(火)
静岡 大学 教育学部
附属 静岡 小学校
2年 学年 だより 7月号

実習生を送る会

6月も「しあわせ」の子どもは元気いっぱい活動しました。実習生を送る会の計画で、めあてを決める際に「実習生も自分たちも思い出に残るようにしたい」「実習生が感動する会にしたい」と一人ひとりが意見を述べながら話し合いが進んでいきました。会で行う遊び決めの際には「その遊びだとみんなが楽しめないんじゃない?」「実習生が授業でやってくれた鬼ごっこをやったら喜ぶんじゃないかな」とめあてを意識した発言がありました。会の当日、実習生に喜んでもらおうと輪飾りや黒板装飾などを張り切って行う姿がありました。会では、司会や初めの言葉、終わりの言葉等の役割を緊張しながらも最後までやり切る姿や、実習生と遊びを思いっきり楽しむ姿、そして最後には別れを悲しむ姿など、これまで実習生と過ごす時間を大切にしてきたからこそ、また、会のためにこれまで話し合ったり準備したりしてきたからこそその姿でした。人との出会いを大事にしようとしたり、自分たちで会をよりよいものにしていこうしたりする「しあわせ」の子どものすてきな姿だったと思います。



プール開きの計画でめあてについて話し合った際「みんなが楽しめるプール開きにしようよ」「プールは危ないこともあるから、ルールを守って怪我がないようにしよう」と楽しむことや安全に行うことなどを意識して話し合っていました。また、内容について話し合った際は「1年生の時にやった渦巻きが楽しかったからまたやりたいな」「宝探しも楽しかったよ」と去年の楽しかった経験を基にした発言をするほか「渦巻きをつくる時にぶつからないように気を付けようよ」「宝探しの時に勢いよくプールに入ると危ないからみんなが気をつけた方がいいよ」とめあてを達成するために必要なことを発言する姿がありました。

迎えた当日は、冷たいシャワーに歓声をあげ、目を輝かせながらプールに入る様子が各クラスで見られました。キャプテンを中心にプログラムを進行し無事にプール開きを行うことができました。振り返りでは「渦に流されるのが楽しかった」「宝をたくさん取れてうれしかった」と満足している様子を感じられました。安全に配慮しながら、子どもにとってより良いプール活動になるようにしていきたいと思います。引き続き持ち物の準備やお子様の健康確認をお願いいたします。

